EPISODE 3-4
かけがえのない物
執刀医：月森孝介

患者名 佐倉りん（子供・女）
身長 119.9cm　体重 27.4kg
患部 胃、左肺　バイタル 75（99）　手術時間（分） 5:00:00
手術要項 ①胃部、肺部を侵食しているギルス「デフテラ」の全摘出。



The procedure of an operation

01 バイタルを全回復（バイタル回復→P18）

02 術野を開いて胃の処置を開始（開創→P20）

03 デフテラが生み出す腫瘍をすべて焼却（ギルス性腫瘍→P28）

04 バイタルを全回復（バイタル回復→P18）

05 色違い合体時に体組織を吸引（デフテラ→P27）

06 デフテラが生み出す腫瘍をすべて焼却（ギルス性腫瘍→P28）

07 03～05を繰り返して腫瘍化したデフテラをガイドラインにそって切り離す（デフテラ→P27）

08 硬質化したデフテラを摘出（デフテラ→P27）

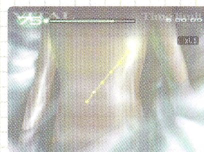
09 切開痕に人工膜を設置（デフテラ→P27）

10 人工膜に塗って定着させる（デフテラ→P27）

11 デフテラが生み出す腫瘍をすべて焼却（ギルス性腫瘍→P28）

12 バイタルを全回復（バイタル回復→P18）

13 術野を閉じる（閉創→P20）



01
バイタルの初期値は75。ギルス対処中はバイタル回復の機会が少ないのでここで99まで回復しておく。



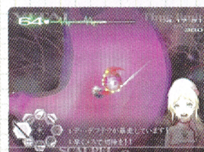
03
レーザーでギルス性腫瘍をすべて焼却。この術式では、腫瘍の焼却をなによりも最優先すること。



04
デフテラ出現後、合体までのあいだはバイタル回復のチャンス。できるだけ高い数値を保っておこう。



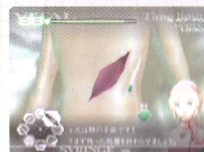
05
ドレーンで組織液を吸引する。ただし、腫瘍が発生している場合は、腫瘍焼却をさきに行なうこと。



07
暴走が始まったらガイドラインをメスで切開。バイタル低下を抑えるために処置はすばやく行なう。



08
切開すればデフテラは活動を停止する。ギルス性腫瘍の焼却とバイタル回復を行ないつつ、摘出。



12
胃の手術が完了したら、次は肺へと術野を移す。そのまえにバイタルを大きく回復させておく。

14 テーピング（テーピング→P21）

15 術野を開いて肺の処置を開始（開創→P20）

16 デフテラ1対を駆除（デフテラ→P27）

17 バイタルを全回復（バイタル回復→P18）

18 残りのデフテラ1対を駆除（デフテラ→P27）

19 デフテラが生み出す腫瘍をすべて焼却（ギルス性腫瘍→P28）

The patient is saved!



The patient
佐倉りん
RIN SAKURA

14
テープを貼るまえに行なう消毒。ここでヒールゼリーを多めに塗ることでもバイタル回復を図る。

16－01
デフテラ2対の処置。つねにレーザーを選択しておき、出現したギルス性腫瘍の焼却を最優先する。

16－02
バイタルを高く保ち、暴走に備える。切り離しは1対ずつ行なわないと患者のバイタルはもたない。

16－03
1対の切り離しに成功したら即バイタルを回復。余裕がなければ、摘出と人工膜はあとまわしにする。

17
ギルス性腫瘍を焼却しつつ、バイタルを99まで回復させる。そのあと残りの1対の処置に当たろう。

18
ここでもギルス性腫瘍を焼却を優先。暴走させるまえにバイタルを高く保っておくこと忘れずに。

19
残り1対を切除し、ギルス性腫瘍をすべて焼却すればバイタル低下の要因は消える。あとは仕上げだ。

SPECIAL BONUS

SPECIAL BONUS 獲得条件	Easy	Normal	Hard	得点
MAX CHAIN○○以上	30	50	60	800
○○○秒以上残して手術終了※	80	120	150	500
Miss判定なし	―	―	―	700

※分表示はそれぞれ、Easy 1:20 Normal 2:00 Hard 2:30

ランク	得点
C	0 ～ 6799
B	6800 ～ 7199
A	7200 ～ 7499
S	7500 ～
XS	7800 ～